

③ 素案の公表と市民意見の募集

2003（平成15）年10月1日から31日にかけて、素案を市民の皆さんに幅広く公表し、ご意見を募集しました。寄せられた意見については、その趣旨を損なわないように分類・整理した上で、これに対する本市の考え方を説明するとともに、必要に応じて素案の修正も行いました。

ア 素案の公表

◇広報さっぽろへのお知らせ記事の掲載（2003（平成15）年10月号）

- ・素案の概要
- ・意見の募集
- ・パネル展の開催



◇素案概要版，素案本編の配付

作成部数：10,000部

配付方法：[窓口配付]

- ・市役所本庁舎
- ・各区役所，区民センター
- ・主要な公共施設など

[郵送]

- ・登録済みの情報提供希望者など
(メイリングリスト登録者)



◇都市計画課ホームページへの素案の掲載

意見募集期間中のアクセス数：1,268件



◇パネル展の開催

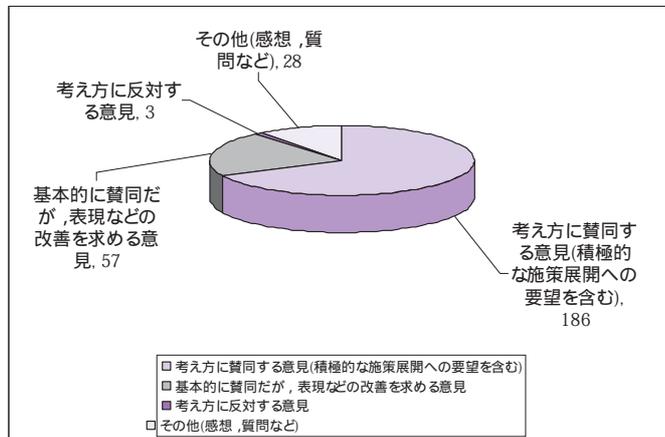
会場：都心部および各区の計11ヶ所
〈各会場4～5日間〉



イ 意見募集結果

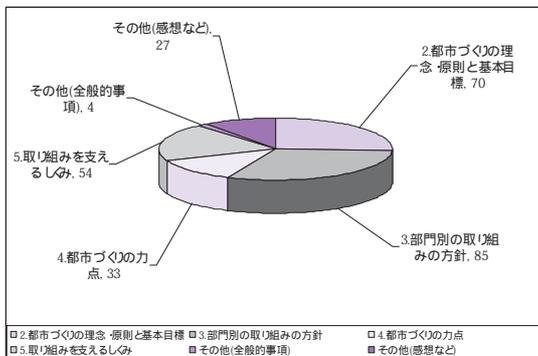
◇意見数…のべ274件

◇賛否の状況

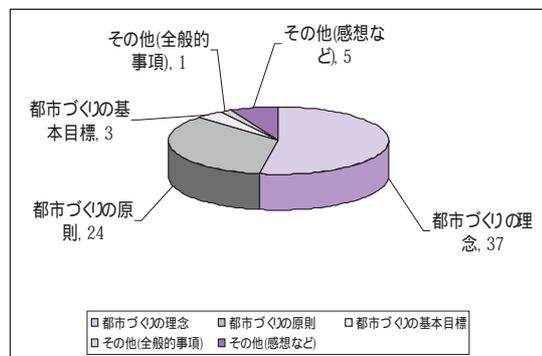


◇内容別の意見数

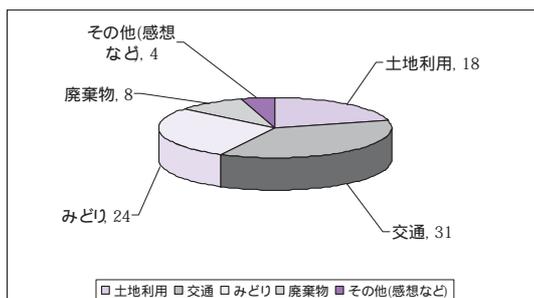
章別の意見数



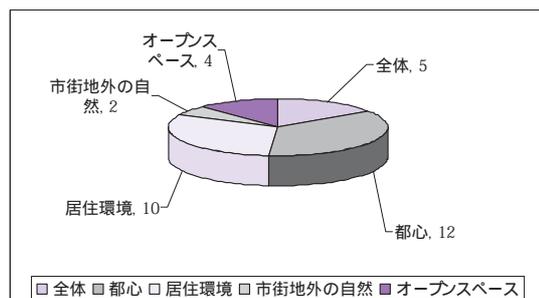
「2 理念・原則、基本目標」についての意見の内訳



「3 部門別の基本方針」についての意見の内訳



「4 都市づくりの力点」についての意見の内訳



ウ 寄せられた意見の概要と本市の考え方

2 都市づくりの理念・原則と基本目標についての意見

※賛同意見に対しては、本市の考え方の再掲はしていません。

項目（本編ページ）	意見要旨	意見に対する考え方
都市づくりの理念 (p24-)	「持続可能なコンパクト・シティへの再構築」という考え方に賛同。	—
	「居住機能を中心とした身近な範囲での多様な機能のまとまり」という考え方に賛同。	—
	市街地の縮小を目指すのか、など、コンパクトという語の解釈は多様であるため、コンパクト・シティの考え方を、より分かりやすく説明する必要がある。	コンパクト・シティの考え方について、都市全体の視点からは、「市街地の拡大の抑制を基調として市街地内の既存都市基盤の有効活用を図るとともに、市街地の外の自然環境を保全すること」を示していますが、ご意見の趣旨を踏まえ、イメージ図の表現を充実しました。
	機能の集積、高密度化は必要だが、過密化による課題への対応も必要。一方、過疎化する地域も出てくるのではないか。	コンパクト・シティの考え方に基づき、とくに都心周辺や地下鉄沿線等での多様な機能の集積を促進し、地下鉄をはじめとする既存都市基盤を有効活用することを示していますが、同時に、居住機能と他の都市機能との複合・集積を、地区特性に応じて秩序をもって誘導することが重要と考えます。一方、郊外部など他の住宅市街地については、成熟した住環境が維持・保全され、人が住み続けられるための対応が必要と考えます。
	機能の複合とはどのようなものか。異種の機能相互の不調和も心配されるのではないか。	コンパクト・シティの考え方について、身近な地域の視点からは、「居住機能を中心に、多様な都市サービス機能が提供されること」を示しています。この際、住宅と工場等が無秩序に混在し環境上の問題が生じることは回避すべきです。例えば、同一建物内で多様な機能の立体的な複合を図るなど、異種の機能が共存できるあり方を、個別の事例ごとに、きめ細かく見出していくことが必要であり、そのためには基本目標で掲げる「地域の取り組み」が重要と考えます。
都市づくりの原則 (p25-)	5つの原則の内容及び整理の仕方に賛同。	—
	防災面での配慮に関する記述を充実すべき。	素案では、原則の内容として「1-4 だれもが安心して暮らし、活動できる都市空間の実現」を示していましたが、ご意見の趣旨を踏まえ、「1-5 暮らしの安全と安心の確保」を追加し、防災や安全確保に関する視点を明確に表現しました。
	住民の安全確保もこれからの重要課題であり、その視点を加えるべき。	
	冬期の生活機能の確保が重要であることを明示すべき（渋滞緩和や歩行者環境の向上など）。	素案では、原則の内容として「2-5 冬期間の都市機能の確保と寒さや雪の活用」を示していましたが、ご意見の趣旨を踏まえ、見出し及びその内容を修正し、より明確な表現としました。
	広域的視点、訪問者の視点から集客交流の重要性について触れるべき。	素案では、原則の内容として「3-1 機能の複合・集積による活動・交流の活発化」を示していましたが、ご意見の趣旨を踏まえ、見出し及びその内容を修正し、より明確な表現としました。
	既存資源の有効活用に関する記述を充実すべき（多様なオープンスペースの利活用など）。	ご意見の趣旨を踏まえ、多様なオープンスペースなどの効果的な活用の重要性を明確化するため、原則の内容に「4-1 魅力ある資源の効果的な活用」を追加しました。
都市づくりの基本目標 (p32, 33)	「地域の取り組みの連鎖」について、どのように取り組みを展開するのかのイメージが分かりにくい。	「地域の取り組みの連鎖」の考え方は、個々の地域の取り組みが進展し、さらに他地域の取り組みが誘発されながら、都市全体の魅力と活力が高まっていくことであり、ご意見の趣旨を踏まえ、そのイメージをわかりやすくするよう、本文及び図の表現を充実しました。
その他	理念・原則・基本目標を各主体で共有化するための取り組みを進めることが必要。	今後は、市民・企業・行政等の都市づくりに関わる各主体が、マスタープランに掲げられた考え方を共有し、協働で取り組みを進めることが重要と考えています。なお、今後の施策推進に向けた基本的考え方は、「5 取り組みを支えるしくみ」で整理しています。